



中山廣子 議員
(公明党)

問 今後の公共交通は

のりあい交通は、多くの方に利用されているが、改善を求める要望が最も多い。市民のニーズに合わせた新たな利用方法を考え、進化させるべき。そして、白岡市地域公共交通確保維持改善協議会等の内容を市民にわかりやすく広く周知をすべきと考えるがどうか。

答 検討内容等を分かりやすく情報発信する

潜在的な市民ニーズに応えられるよう成長させていく。今後は、予約がとりやすい午後の時間帯の利用方法などについて検討する。また、当市の公共交通について、どのような検討がされているか、広報紙でわかりやすく周知を図っていく。

問 母子健康情報サービスアプリの導入を

乳幼児の予防接種は種類も多く、ルールも複雑になっている。その大変なスケジュール管理ができて、日々の成長記録を写真付きで残せる等、他にも妊娠や子育てに関する情報を、最適なタイミングで受け取れる、スマートフォンを使ったアプリを導入してはどうか。

答 現在のところ無料アプリを紹介している

アプリの利便性は認識しているが、予防接種等のスケジュールは乳幼児健康診査等の機会に母子健康手帳で確認しており、また母子保健に関する重要なお知らせは個別通知しているため、現在のところ市でのアプリ導入予定はなく、無料アプリの紹介をしている。



中村匡志 議員
(創政会)

問 藤井市長が公約した行財政改革とは

今後10年間の財政推計を示すとのことだが、その不足額を財政改革の削減額とするのか。それとも歳入増加措置を講じるのか。小島前市長は単独市制施行の際の約束「絶対に増税しない」を守り通したが、小島市政を批判してきた藤井市長は増税へと舵を切るのか。

答 将来に向け財政基盤を確立していく

行財政改革による削減額は、その取組内容の具体的な議論の中で検討していきたい。財政推計の収支乖離額への対応は、歳入を増やすか、歳出を削減するかは方法はない。そのため、まずは、歳出削減への取組を行っていかねばならないと考えている。

問 藤井市長の公約違反の政治責任は

藤井市長は選挙前「訴訟覚悟で新白岡の葬祭場建設中止」を公約したが、就任わずか14日でこの公約への違反を宣言した。市民に謝罪はするのか。また、辞職はするのか。一応、開発許可の撤回等、「訴訟覚悟」で公約を守る選択肢も残されているが、どうするのか。

答 今後も事業主への働きかけを行っていく

当時は、開発許可前であったことから、事業主に対する交渉の余地があるものと考えていた。しかしながら、選挙期間中に開発許可がなされ、交渉の手だてがなくなった。今後も事業主へ働きかけを行うとともに、新白岡地区がよりよい街となるよう対応していく。



令和2年12月21日時点の建設予定地